

第9回書道パフォーマンス甲子園 入賞校一覧

※審査員講評内の○は良かった点、△は今後さらに研究すると良い点を表します。

賞	学校名	総合得点	審査員名	講評
優勝	香川県立 高松商業高等学校	727	審査員A	空海の飛白体を狙った冒頭、ダイナミックな展開を生み出した墨書大字、全員のメリハリの効いた所作、感動しました。灌頂記に基く古典性もよい。
			審査員B	飛白体での「カ」に演出さを感じる。身体の動きが美しい。その動きの中にとけ込むように書の運筆があり、これぞ「書道パフォーマンス」といったレベルの高さ。大字において、筆の引き揚げが上手く線質に表れている。古典を生かした表現、取り組み自体が評価できる。
			審査員C	動きに切れ味があり、全体が引き締まった○。大字の書が生かされていた○。筆力がひき出せた○。さらに意外性のあるチャレンジも可能か△。
			審査員D	大胆な筆遣いが良かった。筆を集めて道具を作り、波を描いたのも良かった。チームワークが素晴らしかった。石を使った楽器、素敵な音色でした。
			審査員E	音、そしてポーズ、他にも新しい工夫が見られてとても良かったと思います。見せる事、見られることがちゃんと計算されているのがすごい！！
			審査員F	新しいとりくみ、新しい挑戦を感動にして魅せてくれてありがとう！
			審査員G	背中を向けたイントロ。新しい試みに拍手！そしてキビキビとした動きを全員が統一感を持って演技していた。昨年度優勝校に相応しいパフォーマンスであった。
			審査員H	書の演出、息を飲みました。芸術的な世界に驚かされました。鈴の音、演劇的というか音楽的というか空海のミュージカルのような、すばらしかったです。
準優勝	愛媛県立 三島高等学校	713	審査員A	書く仕草を徹底的に追究、練った内容。長鋒を巧みに用い、かなを支柱とした表現にも魅了された。
			審査員B	息をつかせぬ、全体の演技に今年も感服。構成に余韻を持たせたチャレンジ作。ためた力(ストップモーション)を書線に生かすパフォーマンスはパイオニアであり、三島しかできない。
			審査員C	ストップモーションが効いていた○。漢字と仮名の調和○。絵と書の融合がはかられ紙面が生きた○。絵にも書の用筆が生きた。揮毫時の左右への身体の動きが少々過剰だったかもしれない△。
			審査員D	かなでこの大きな紙面をよく表現したと思う。全員がリズムに乗って動きが揃っていた。筆の先がよく立ち、いい線が書けた。
			審査員E	音楽とシンクロするというところをつきつめたひとつの形を見せてもらった気がします。目が離せませんでした。素晴らしい！！
			審査員F	音を活かした動も、書が素晴らしかった！
			審査員G	「書」を書くという一点に集中してゆく姿が素晴らしい。派手なパフォーマンスはないが、実に奥深い「書」だと思ふ完成した「ひらがな」の書が素敵だ！
			審査員H	作品が立ち上がったときの絵にハッとさせられました。墨で描かれた髪、文字のたおやかさと優美さ、そして木の柔和さ、すべてが美しく、調和していました。立ち上る香り！
3位	福岡県立 八幡中央高等学校	703	審査員A	始まる前からワクワクする仕掛け。音と書美の深いコラボ。大字はまさにパフォーマンス書道の範。準備に時間をかけているのがよく判る。
			審査員B	雅楽の演奏と書の表現を見事に融合させた。重壮な雰囲気の中に言葉書きの繊細さも生きている。「響」は大胆だが、そこにも繊細さが欲しかったか。
			審査員C	大字の揮毫とパフォーマンスのクライマックスが重ね合わせたり動的な展開になった。個々の書き手の書の個性が生かされ、かつ全体の調和もはかられた。
			審査員D	迫力満点。最後の大字、良かった。周囲の扇面の文字も確かな筆致ですばらしかった。演奏も効果的だった。全員の動きがよく合っていた。
			審査員E	生音も取り入れ、まるで儀式を見ているようなパフォーマンスでした。力強さがちゃんと観客に響いたと思います。
			審査員F	響いた！！
			審査員G	毎年、何が飛び出すか楽しみな高校。今年も期待に応えてくれる楽しい演技であった。特に真ん中に大書された字が力強く素晴らしい。
			審査員H	パワー、神聖かつ躍動感。全員いないと作れないステージでした。書、文字の持つ力を表現した。力強く、見る人の人生を力強く応援する作品でした！

審査員特別賞	島根県立 松江東高等学校	695	審査員A	大胆な踊りに魅了された。対して書く動きが少なく小ぢんまりしていた。途中で空気が入れ変わり二作分案しめた感じがある。古典からの集字がよく生きていた。
			審査員B	勇壮かつ華やかな雰囲気为好印象。「雄心」の表現が作品のレベルを高めた。テーマに沿った演出、演技も素晴らしい。これからさらに書のレベルを高めて頑張ってください。
			審査員C	複数の書体を用いて表現し、それぞれの書きぶりが紙面に活きる構成になった。金粉をまいたり、殺陣を取り入れたりパフォーマンスとしても新鮮味のある表現であった。
			審査員D	最後の金粉がすごく効果的でした。文字も確かな筆致で、上手く書けていました。総合的に素晴らしい出来でした。初出場とは思えない程、堂々とした演技でした。
			審査員E	観る側をあきさせない色々な工夫がみられて感心しました。凛々しい姿がとても印象的なパフォーマンスでした。
			審査員F	出来上がりの書が美しくまさに雄心！
			審査員G	松江城をテーマに実に凛々しく力強い演技であった。さらにそれぞれのシーンごとに顔の表情にまで変化をつけていて見事！
			審査員H	金粉がキラキラと圧巻でした。足を踏み鳴らす演出、そこへ金粉、力強い作品。金粉が本当に光の粒に見えた。みんなの心に、記憶にふり注いだ。
紫舟賞	香川県立 三本松高等学校	691	審査員A	深、薄、紫色を基調にしなやかな身体表現を展開、大小、実に率直な行書でのびやかに書けている。
			審査員B	「毎日」に対して「憶」「思」「想」を表現し分けたコンセプトは面白い。すべて文字を墨で表現するこだわりも受け取れた。であれば、今後は「言葉」に対する文字の表現(書風)の違いにも挑んで欲しい。動き、表現ともに高いレベルを感じた。
			審査員C	動きの連動がスムーズで流れが演出された。役割分担と全体のテーマの共有がはかられていた。墨書が紙面に映える構成になった。
			審査員D	文字も確かな筆致で書かれていた。花の表現も上手い。大字も堂々と上手く書けた。一人で書いたと思うくらいよくまとまっていた。
			審査員E	優しい気持ちが観ている側まで伝わってきました。踊りの部分と書の内容がちゃんとリンクしていて効果的だったと思います。
			審査員F	花を活かして花に想いを込めて一つの書が咲いていた！感動！！
			審査員G	一人一人の所作がとても端正で美しい。書く人と踊る人の心が一つになっていて、一体感が出来上がっていた。一輪の花も実に効果的！！
			審査員H	美しかった。女性のやさしさ、花のような気持ち、きれいなきれいな動き、野原のようでした。心が洗われました。夢心地。幸せそのもの。
南海放送賞	長野県 松本蟻ヶ崎高等学校	690	審査員A	肩を象るアイディア、りと張りつめた空気をつくる人との所作、テーマが大変明確。楷、行、隷体の基礎がよく表れている。
			審査員B	一字一字をじっくり書き進める点が重厚かつ勇壮な演技に適合している。1つのドラマを観るようで、その中に書が自然にとけ込んでいて素晴らしい。書の方もパフォーマンスの面も双方深めて取り組んだ名演技。
			審査員C	歴史性のある題材で書を通じて「今」を表現できた。音楽との一体感があり、全体がよく練られている。用筆の正確さに、個人差がある。
			審査員D	文字を丁寧に書いているのが良かった。リズムやスピードに流されないで上手く書けていた。行間も揃っておりスッキリと余白が美しかった。
			審査員E	凛とした雰囲気を最後まで崩すことなく、所作もとても良かったと思います。場の空気を作り上げていて素晴らしい!!
			審査員F	引き込まれて最後はがつんと来て感動したよ！
			審査員G	完璧に近いパフォーマンスだ。細かいところにまで演出が行き届いている。赤と黒と金色を上手く使い、墨桶にまで六文銭をほどこした点など見事と言うしかない。
			審査員H	ひとつの戦国映画を見ているような、大河ドラマのワンシーンのような。海外公演したら面白そう。書をそれから抜け出し立体的なエンターテインメントにしている。すばらしい！